



たっし 達志

～校訓～

かしこく
ゆたかに
たくましく

日置市立湯田小学校
学校便り



令和6年6月24日発行

絶対ダメ!!「いじめ」

校長 山下 孝一郎

全ての子供たちにとって、湯田小学校が最高の学舎（まなびや）であるために、絶対にあってはならないことの一つに「いじめの問題」があります。

25日（火）に行われた児童総会（3年生以上の児童全員による集会活動）のテーマは「いじめのない明るい湯田小にするにはどうすればよいか」でした。『いじめは決して許されないこと』として、それぞれの学年・学級で、子供らしい具体策を考えて議論しました。学校全体としての取組は、28日（金）の児童集会において伝えられますので、お子さんに聞いてみてください。



児童集会の様子

さて、下は私が気になったデータです。いじめについて、親として大人としてどう認識しているか、再考してみましょう！

【興味深いデータ】 テレビで、いじめによる自殺報道を見た時の親子の会話

- 1 「あんたは、いじめられてないよね？」・・・90%以上
- 2 「あんたは、いじめてないよね？」・・・20%ほど
- 3 「あんたは、いじめを見てないね？」・・・5%以下



まず、いじめの発見はとても難しいです。上述の児童集会の話題のとおり、子供は『いじめは悪いこと』と知っています。だから、安易にバレるようなことはしません。ですので、自殺してしまってから、初めていじめに気付くケースが多いのです。

次に、親の姿勢です。「我が子がいじめられてさえないければいい。」という姿勢では、ますますいじめの発見が遅くなります。3番は、わずか5%以下ですが、いじめの早期発見・早期解決のために、親の姿勢として3番の会話はとても大切なことなのです。

⇒『傍観者も加害者である。』という認識が非常に重要です。

注意 子供たちがスマホを持ち始めると、ますますいじめに気づきにくくなります。

LINE等のSNSによるいじめは、悪質化して深刻です。しかし、SNSはこの社会にとってなくてはならない便利ツールです。将来的にスマホを持たせないという社会ではありません。ですので、スマホを持たせたからには、いじめに対して以下のような対応ができるといいなと思います。



他人に見られないSNSで、こっそりいじめに加担することは絶対ダメ！
逆に、他人に見られないSNSで、こっそりいじめられている友達を助けてあげよう！
⇒「私はあなたの見方だよ。私から誰か大人の人に相談しようか…」など

いじめは、人の命さえも奪いかねない犯罪行為です。「いじめを許さない環境」を醸成しましょう！



楽しい思い出をお土産に!



5月22日(水)・23日(木)は、6年生の修学旅行でした。1日目は、熊本市内の自主研修や熊本城で地震からの復興の様子や歴史など学びました。2日目はグリーンランドで思い出をたくさんつくりました。

この経験や深めた友情や自主的に計画を立てたり考えたりする力を学校生活などで活かしてほしいです。



御協力ありがとうございました



6月8日(土)は、「東市来中校区災害に伴う引き渡し訓練」への御協力ありがとうございました。今回の訓練をもとに、学校での万が一に備えます。災害はいつどこで起こるかわかりません。緊急時の対応を子供たちと一緒に、ぜひ御家族でも話題にしてください。

7月の主な行事予定



- 3日(水) 授業参観・学級PTA
学校運営協議会
夏のふれあい達志塾代表者会
- 12日(月) SC(スクールカウンセラー)来校
- 13日(土) 土曜授業
- 15日(月) **祝** 海の日
第38回B&G会長杯
校区対抗水泳大会
- 19日(金) 第1学期終業式 大掃除
水難事故防止運動強調期間~8/31
~9月1日(日)
夏季休業
- ※ 8月1日(木)・21日(水) 出校日



成長を自覚できた宿泊学習



5月27日(月)・28日(火)は、南薩少年自然の家で、5年生の集団宿泊学習でした。あいにくの雨空で、予定した外での活動はあまりできませんでしたが、灯の集いや焼き板に砂絵を描くサンドキーンガー作りなど、思い出に残る活動ができました。

初めての集団宿泊学習でしたが、みんなで協力することの大切さや自分のことは自分で行う責任感を学びました。たくさんの経験を積み、自立への一歩につながる実り多い2日間になりました。



学校ではできない体験を!

1~4年生は、貸切バスで遠足に出掛けました。各学年で水族館や科学館、クリーンセンター、浄水場など今後の学習につながる場所を訪れました。

実際に見たり、体験したりすることで、机上では得られない学びを深めた子供たちでした。お弁当の準備等、家庭の御協力ありがとうございました。



鹿児島市立科学館(3年生)



かごしま水族館(1・2年生)

マダいの稚魚放流体験

江口漁業協同組合の招待を受け、5年生が伊作田小と共同でマダいの稚魚放流体験を行いました。稚魚を放流する目的や豊かな海づくりの活動について体験と座学を交えて学びました。5年生は、社会科の学習で水産業について学習します。この貴重な体験を学習に生かせそうですね。

7月の目標

- 生活**: 1学期のまとめをしよう
- 保健**: 夏の健康に気をつけよう
[薬物乱用防止教育月間]
- 安全**: 水辺の安全に気をつけよう
- 図書**: 1学期の読書生活を振り返ろう



御家庭でも関連した声掛けなど、よろしくお祈りします。

1年生も楽しそう!!



船の上から放流



水泳学習開始!

学校のプールでは、水泳学習が始まっています。安全面の配慮も忘れずに、水の心地よさを味わいながら、全身運動に取り組んでいます。